

ひとりの幸せを支え合うきずなアンケート調査（事業所編） 一覧表

2021.10.18現在

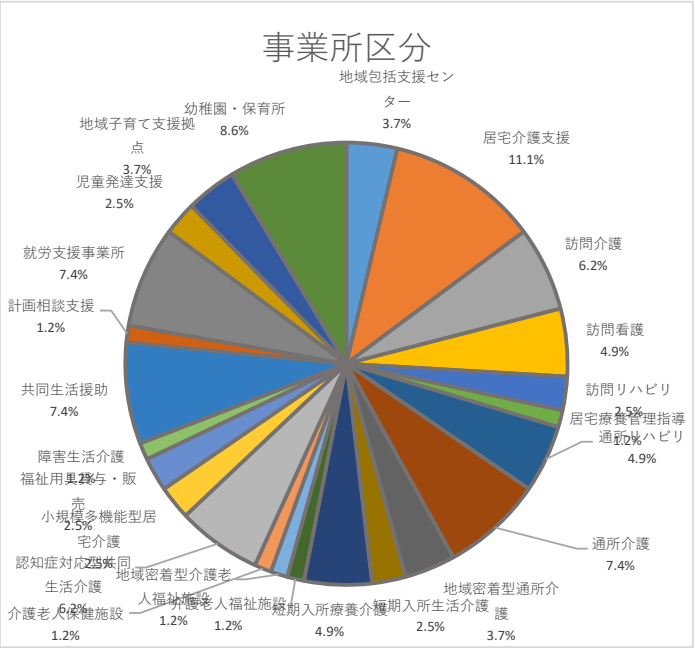
回答数	81
回答率	91.0%

1. パスワード

（集計省略）

2. 事業所区分（事業所名より整理・仕分け）

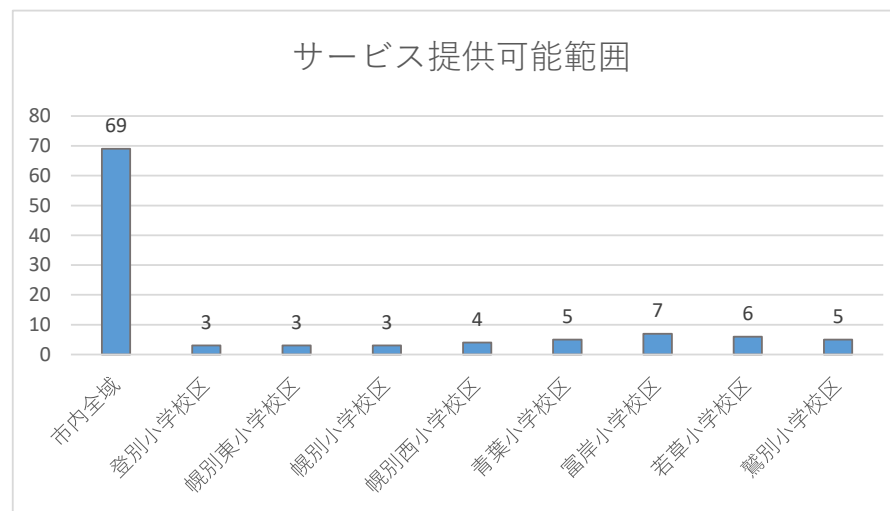
項目	回答数	割合	依頼母数	母数内割合
地域包括支援センター	3	3.7%	3	100.0%
居宅介護支援	9	11.1%	11	81.8%
訪問介護	5	6.2%	5	100.0%
訪問看護	4	4.9%	4	100.0%
訪問リハビリ	2	2.5%	2	100.0%
居宅療養管理指導	1	1.2%	1	100.0%
通所リハビリ	4	4.9%	4	100.0%
通所介護	6	7.4%	6	100.0%
地域密着型通所介護	3	3.7%	5	60.0%
短期入所生活介護	2	2.5%	3	66.7%
短期入所療養介護	4	4.9%	4	100.0%
介護老人福祉施設	1	1.2%	2	50.0%
地域密着型介護老人福祉施設	1	1.2%	1	100.0%
介護老人保健施設	1	1.2%	1	100.0%
認知症対応型共同生活介護	5	6.2%	6	83.3%
小規模多機能型居宅介護	2	2.5%	2	100.0%
福祉用具貸与・販売	2	2.5%	2	100.0%
障害生活介護	1	1.2%	1	100.0%



共同生活援助	6	7.4%	6	100.0%
計画相談支援	1	1.2%	1	100.0%
就労支援事業所	6	7.4%	6	100.0%
児童発達支援	2	2.5%	2	100.0%
地域子育て支援拠点	3	3.7%	3	100.0%
幼稚園・保育所	7	8.6%	8	87.5%

3. サービス提供可能範囲

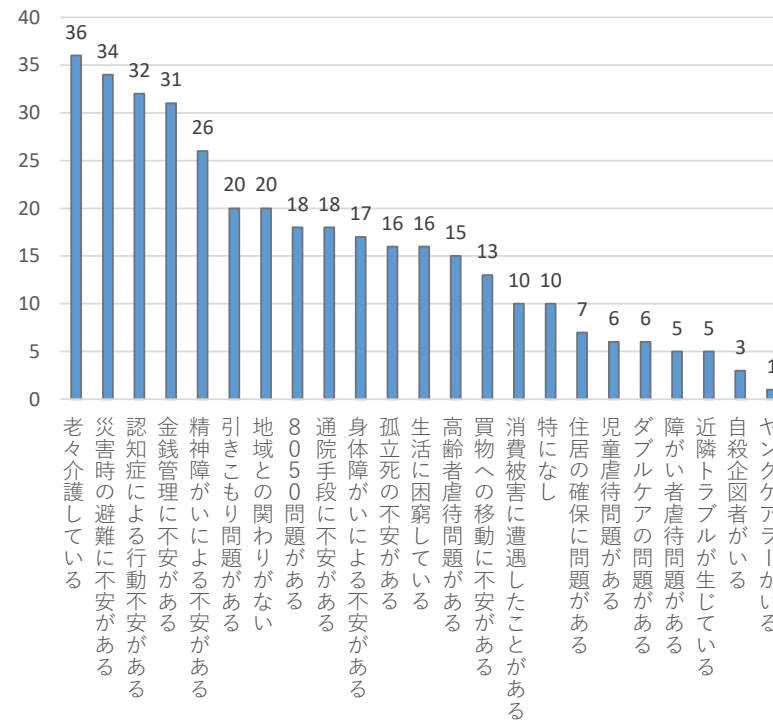
項目	回答数	割合
市内全域	69	83.3%
登別小学校区	3	4.2%
幌別東小学校区	3	4.2%
幌別小学校区	3	4.2%
幌別西小学校区	4	5.6%
青葉小学校区	5	6.9%
富岸小学校区	7	9.7%
若草小学校区	6	8.3%
鷺別小学校区	5	6.9%



4. 解決の難しい課題のある世帯

項目	回答数	割合
老々介護している	36	44.4%
災害時の避難に不安がある	34	42.0%
認知症による行動不安がある	32	39.5%
金銭管理に不安がある	31	38.3%
精神障がいによる不安がある	26	32.1%
引きこもり問題がある	20	24.7%
地域との関わりがない	20	24.7%
8050問題がある	18	22.2%
通院手段に不安がある	18	22.2%
身体障がいによる不安がある	17	21.0%
孤立死の不安がある	16	19.8%
生活に困窮している	16	19.8%
高齢者虐待問題がある	15	18.5%
買物への移動に不安がある	13	16.0%
消費被害に遭遇したことがある	10	12.3%
特になし	10	12.3%
住居の確保に問題がある	7	8.6%
児童虐待問題がある	6	7.4%
ダブルケアの問題がある	6	7.4%
障がい者虐待問題がある	5	6.2%
近隣トラブルが生じている	5	6.2%
自殺企図者がいる	3	3.7%
ヤングケアラーがいる	1	1.2%

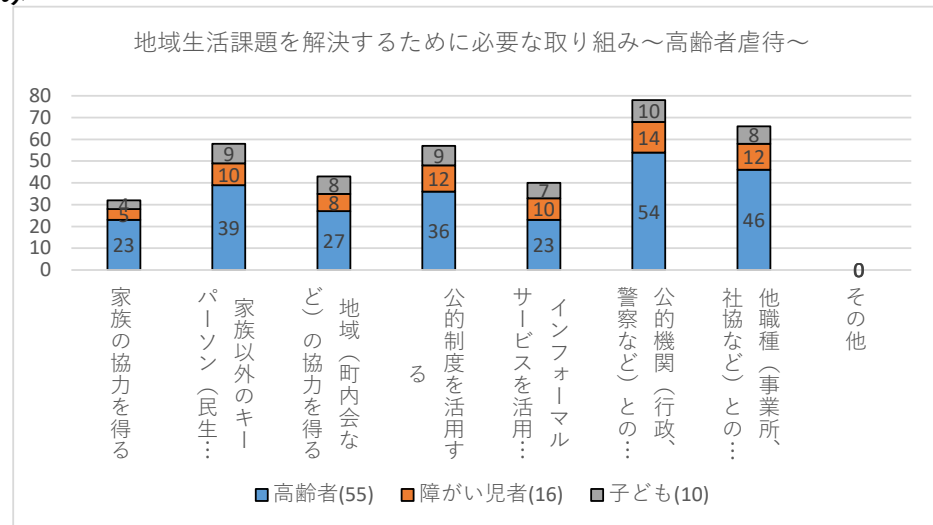
解決の難しい課題のある世帯



5-1. 世帯の課題を解決するために必要だと思う取り組み

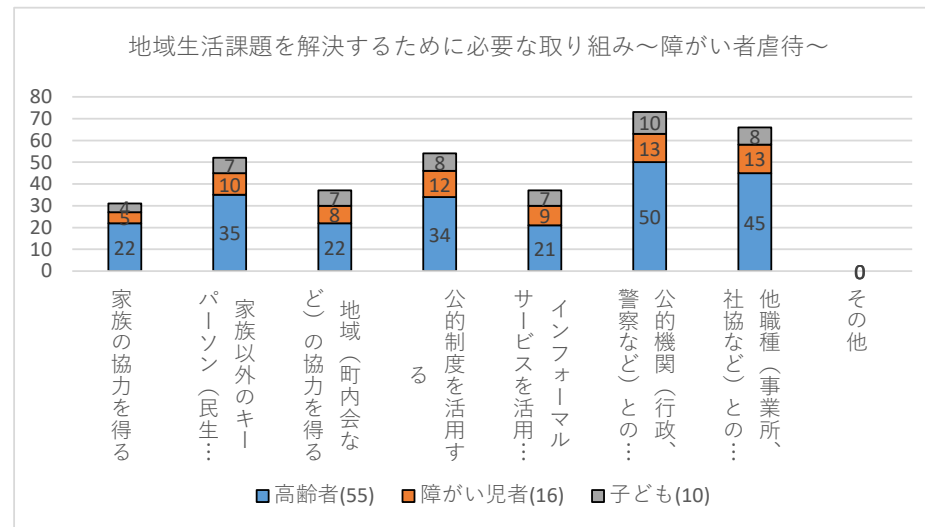
(1) 高齢者虐待

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	32	39.5%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	58	71.6%
地域（町内会など）の協力を得る	43	53.1%
公的制度を活用する	57	70.4%
インフォーマルサービスを活用する	40	49.4%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	78	96.3%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	66	81.5%
その他	0	0.0%



(2) 障がい者虐待

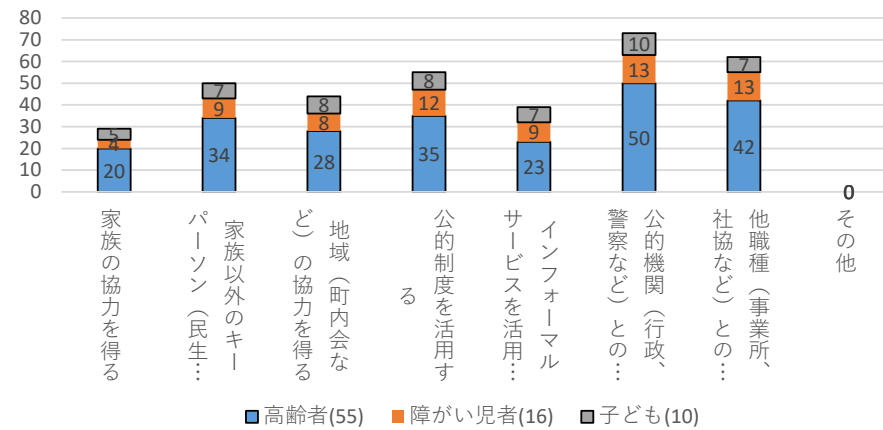
項目	回答数	割合
家族の協力を得る	31	38.3%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	52	64.2%
地域（町内会など）の協力を得る	37	45.7%
公的制度を活用する	54	66.7%
インフォーマルサービスを活用する	37	45.7%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	73	90.1%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	66	81.5%
その他	1	1.2%



(3) 児童虐待

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	29	35.8%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	50	61.7%
地域（町内会など）の協力を得る	44	54.3%
公的制度を活用する	55	67.9%
インフォーマルサービスを活用する	39	48.1%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	73	90.1%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	62	76.5%
その他	2	2.5%

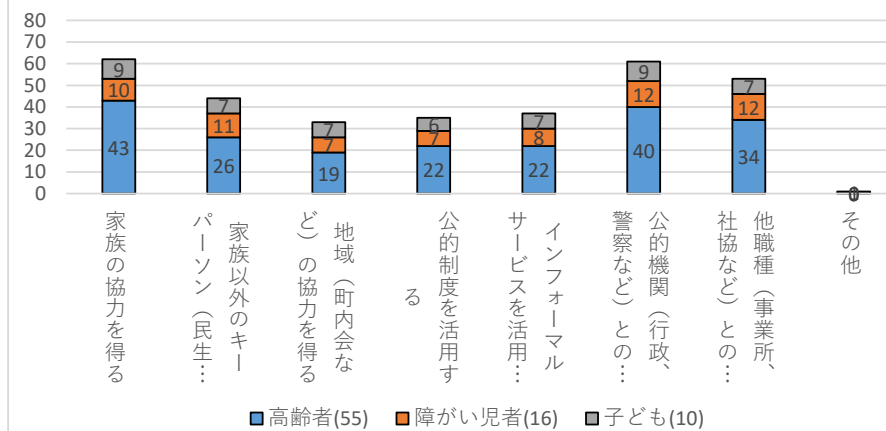
地域生活課題を解決するために必要な取り組み～児童虐待～



(4) 自殺企図者がいる

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	62	76.5%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	44	54.3%
地域（町内会など）の協力を得る	33	40.7%
公的制度を活用する	35	43.2%
インフォーマルサービスを活用する	37	45.7%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	61	75.3%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	53	65.4%
その他	2	2.5%

地域生活課題を解決するために必要な取り組み～自殺企図者～

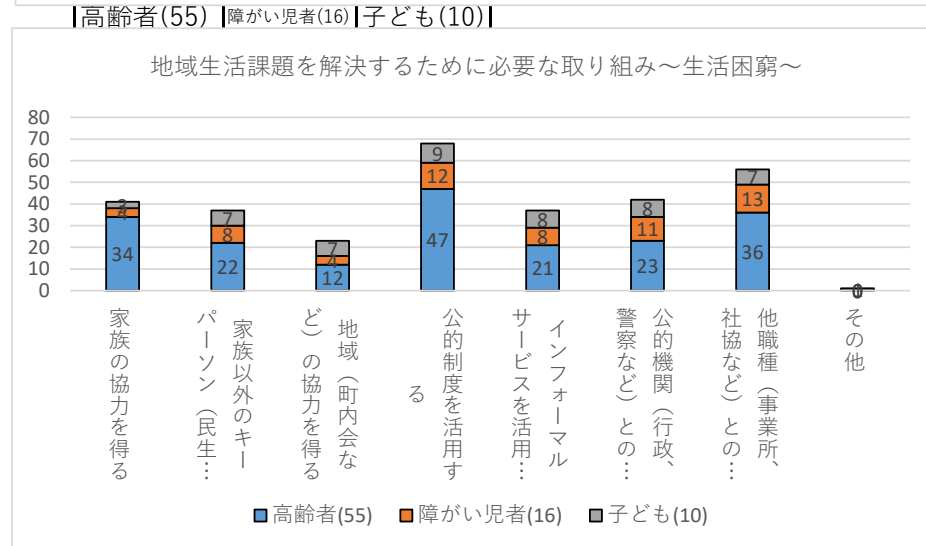
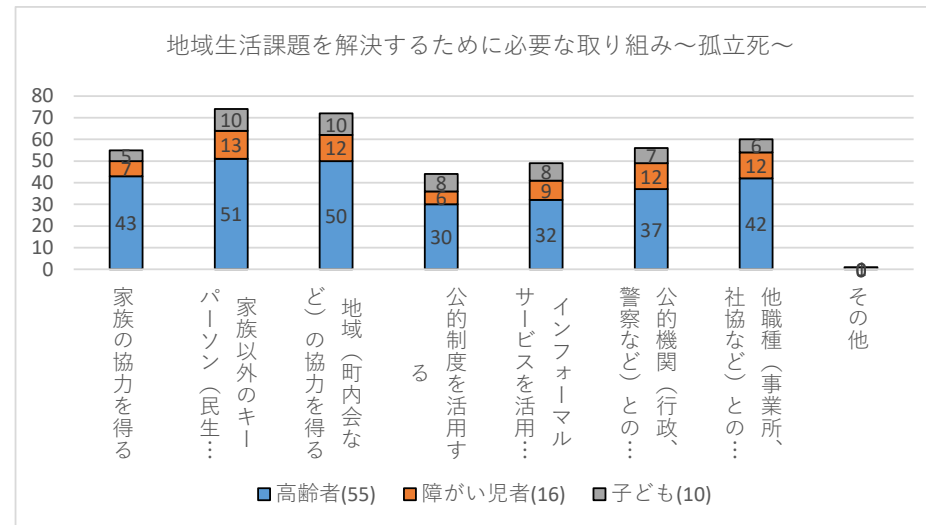


(5) 孤立死の不安がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	55	67.9%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	74	91.4%
地域（町内会など）の協力を得る	72	88.9%
公的制度を活用する	44	54.3%
インフォーマルサービスを活用する	49	60.5%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	56	69.1%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	60	74.1%
その他	2	2.5%

(6) 生活に困窮している

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	41	50.6%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	37	45.7%
地域（町内会など）の協力を得る	23	28.4%
公的制度を活用する	68	84.0%
インフォーマルサービスを活用する	37	45.7%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	42	51.9%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	56	69.1%
その他	1	1.2%

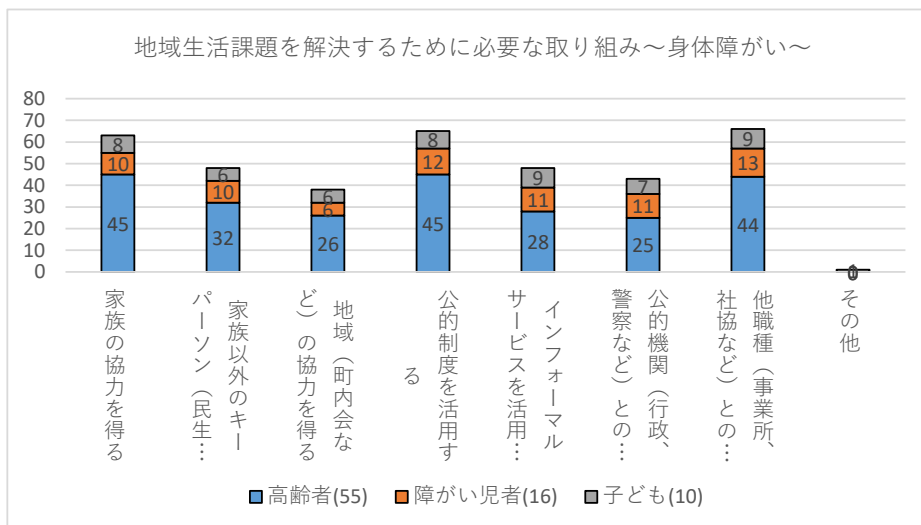
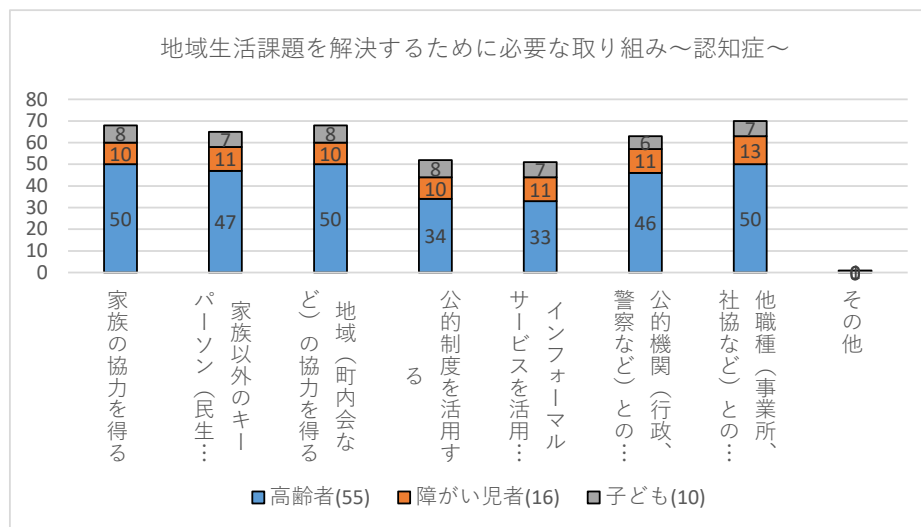


(7) 認知症による行動不安がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	68	84.0%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	65	80.2%
地域（町内会など）の協力を得る	68	84.0%
公的制度を活用する	52	64.2%
インフォーマルサービスを活用する	51	63.0%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	63	77.8%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	70	86.4%
その他	2	2.5%

(8) 身体障がいによる不安がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	63	77.8%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	48	59.3%
地域（町内会など）の協力を得る	38	46.9%
公的制度を活用する	65	80.2%
インフォーマルサービスを活用する	48	59.3%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	43	53.1%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	66	81.5%
その他	2	2.5%

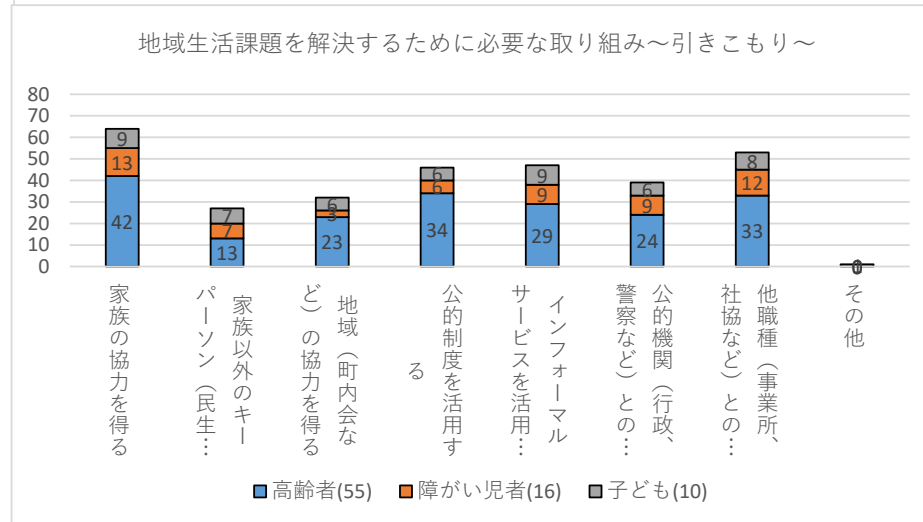
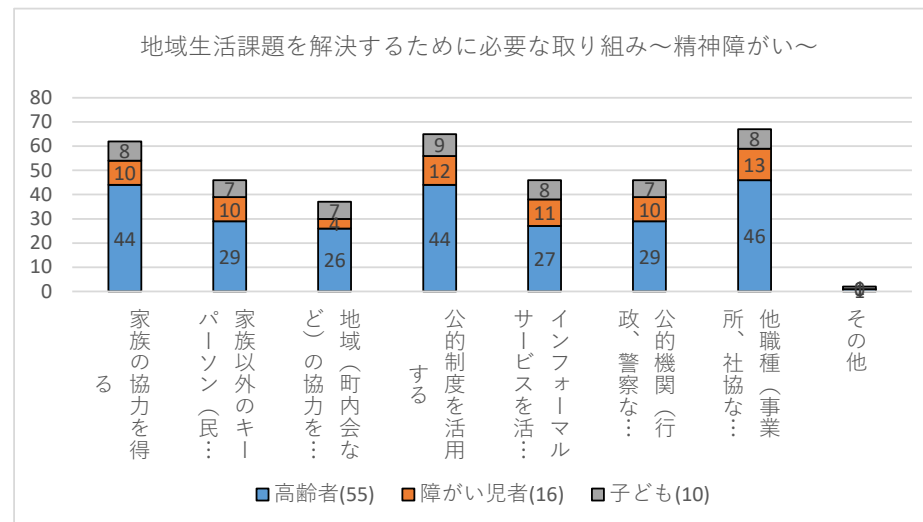


(10)精神障がいによる不安がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	62	76.5%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	46	56.8%
地域（町内会など）の協力を得る	37	45.7%
公的制度を活用する	65	80.2%
インフォーマルサービスを活用する	46	56.8%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	46	56.8%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	67	82.7%
その他	4	4.9%

(10) 引きこもり問題がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	64	79.0%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	48	59.3%
地域（町内会など）の協力を得る	32	39.5%
公的制度を活用する	46	56.8%
インフォーマルサービスを活用する	47	58.0%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	39	48.1%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	53	65.4%
その他	2	2.5%



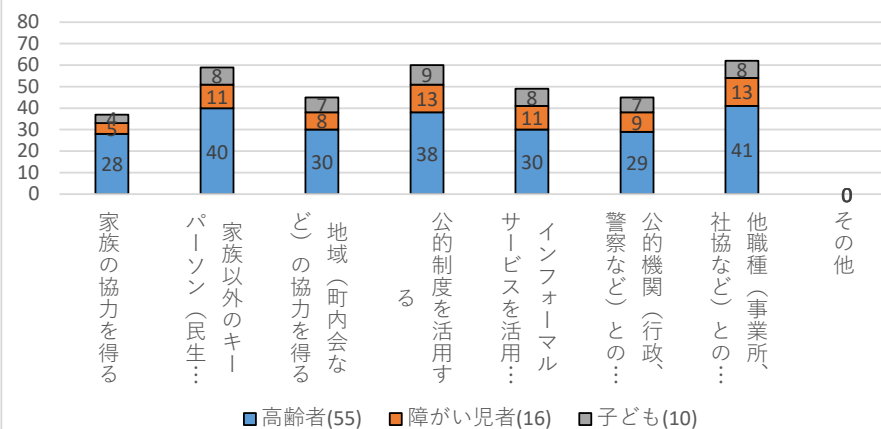
(11) 8050問題がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	37	45.7%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	59	72.8%
地域（町内会など）の協力を得る	45	55.6%
公的制度を活用する	60	74.1%
インフォーマルサービスを活用する	49	60.5%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	45	55.6%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	62	76.5%
その他	1	1.2%

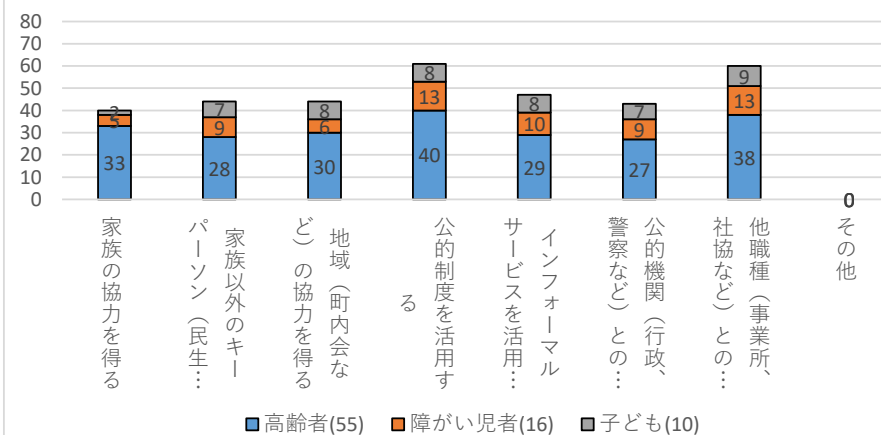
(16)ヤングケアラーがいる

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	40	49.4%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	44	54.3%
地域（町内会など）の協力を得る	44	54.3%
公的制度を活用する	61	75.3%
インフォーマルサービスを活用する	47	58.0%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	43	53.1%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	60	74.1%
その他	0	0.0%

地域生活課題を解決するために必要な取り組み～8050問題～



地域生活課題を解決するために必要な取り組み～ヤングケアラー～

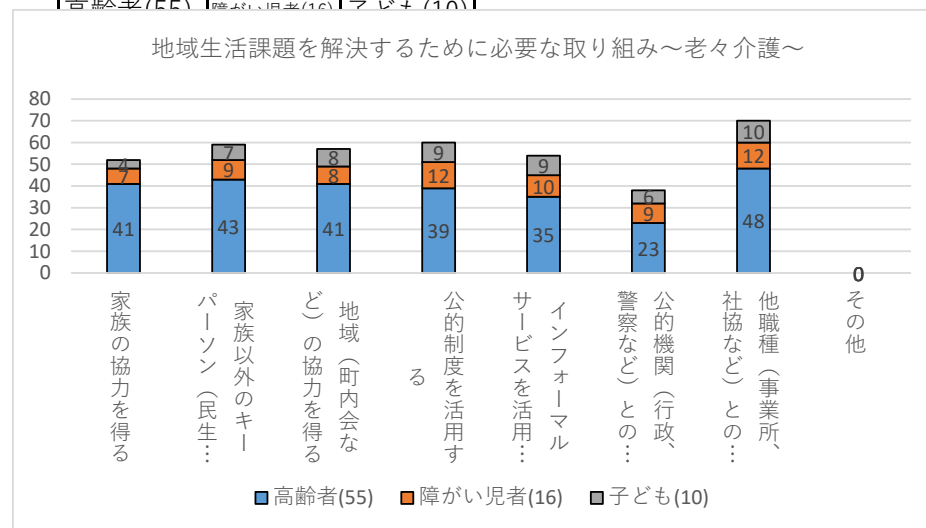
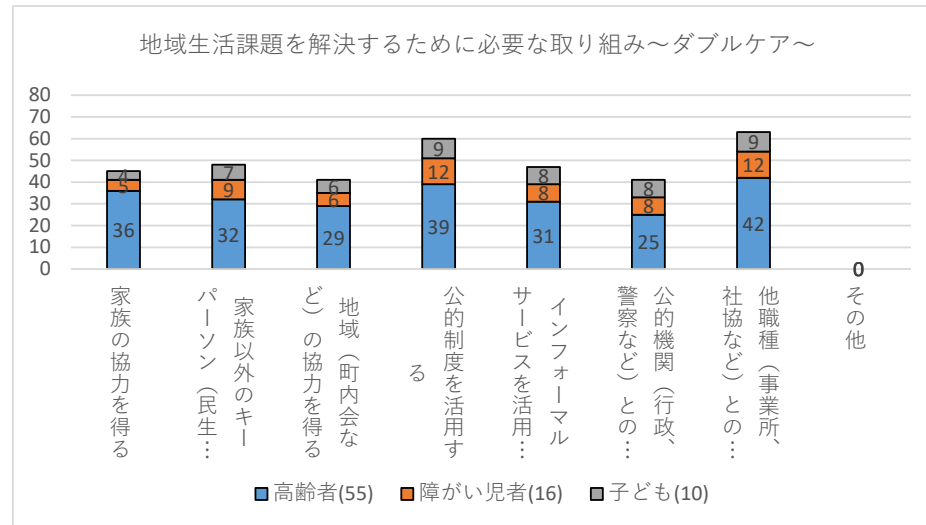


(13) ダブルケアの問題がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	45	55.6%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	48	59.3%
地域（町内会など）の協力を得る	41	50.6%
公的制度を活用する	60	74.1%
インフォーマルサービスを活用する	47	58.0%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	41	50.6%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	63	77.8%
その他	0	0.0%

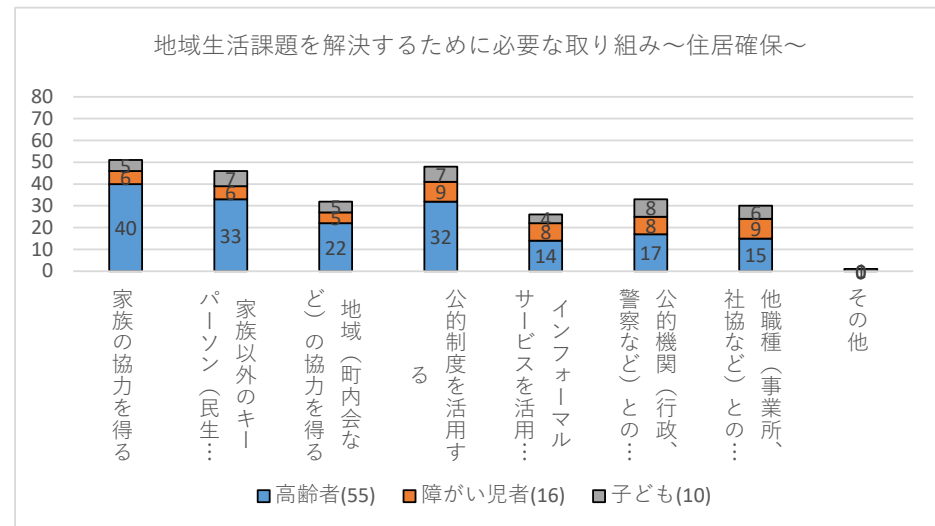
(14) 老々介護している

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	52	64.2%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	59	72.8%
地域（町内会など）の協力を得る	57	70.4%
公的制度を活用する	60	74.1%
インフォーマルサービスを活用する	54	66.7%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	38	46.9%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	70	86.4%
その他	1	1.2%



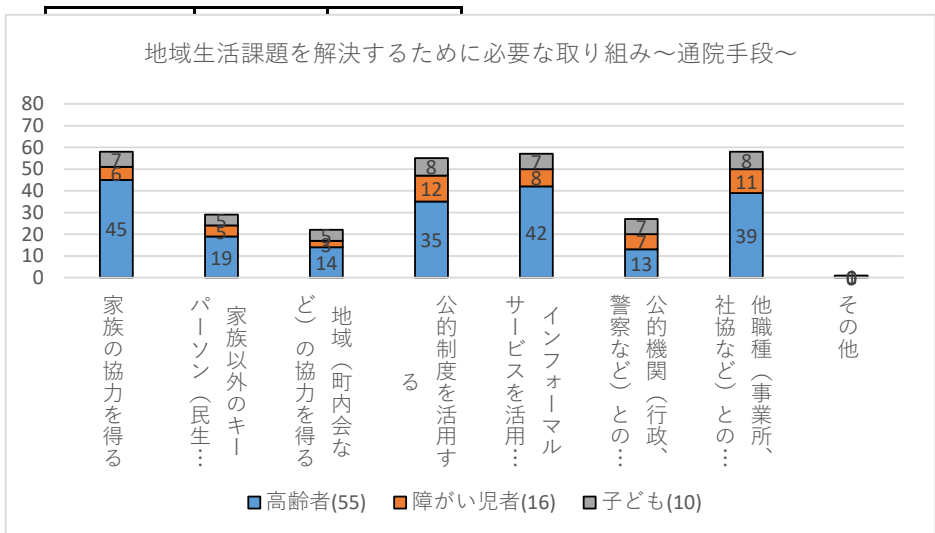
(15) 住居の確保に問題がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	51	63.0%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	46	56.8%
地域（町内会など）の協力を得る	32	39.5%
公的制度を活用する	48	59.3%
インフォーマルサービスを活用する	26	32.1%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	33	40.7%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	30	37.0%
その他	1	1.2%



(16) 通院手段に問題がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	58	71.6%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	29	35.8%
地域（町内会など）の協力を得る	22	27.2%
公的制度を活用する	55	67.9%
インフォーマルサービスを活用する	57	70.4%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	27	33.3%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	58	71.6%
その他	2	2.5%

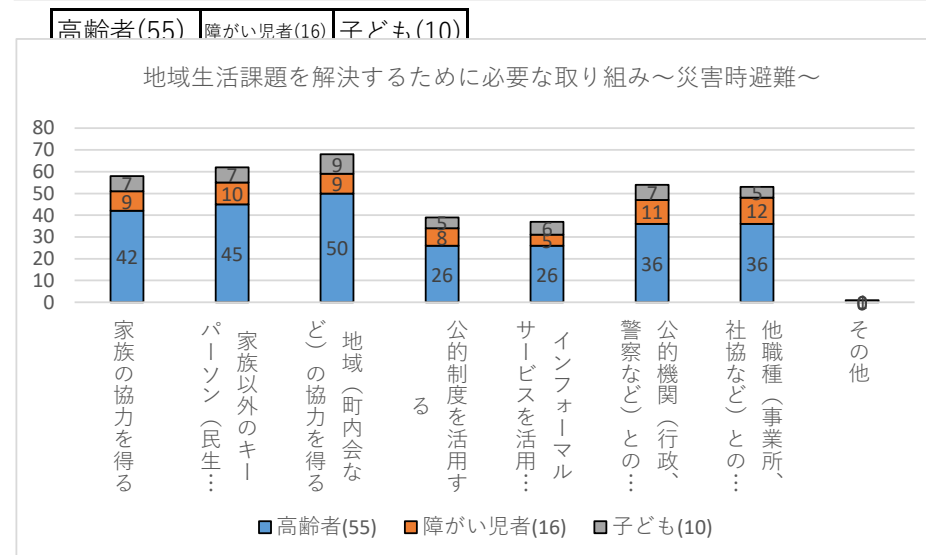
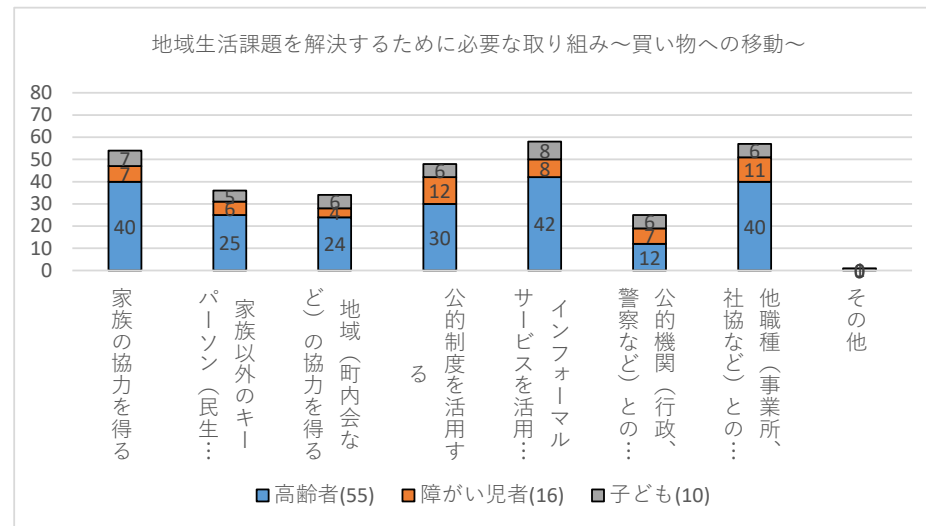


(17) 買物への移動に不安がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	54	66.7%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	36	44.4%
地域（町内会など）の協力を得る	34	42.0%
公的制度を活用する	48	59.3%
インフォーマルサービスを活用する	58	71.6%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	25	30.9%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	57	70.4%
その他	2	2.5%

(18) 災害時の避難に不安がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	58	71.6%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	62	76.5%
地域（町内会など）の協力を得る	68	84.0%
公的制度を活用する	39	48.1%
インフォーマルサービスを活用する	37	45.7%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	54	66.7%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	53	65.4%
その他	1	1.2%



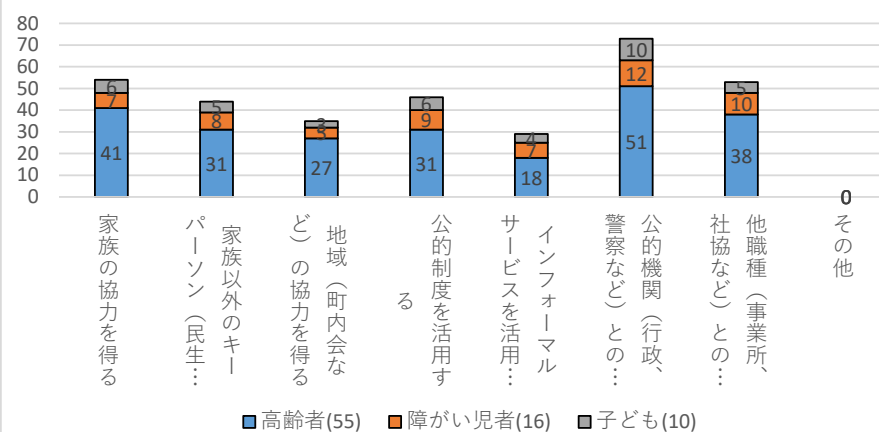
(19) 消費被害に遭遇したことがある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	54	66.7%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	44	54.3%
地域（町内会など）の協力を得る	35	43.2%
公的制度を活用する	46	56.8%
インフォーマルサービスを活用する	29	35.8%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	73	90.1%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	53	65.4%
その他	1	1.2%

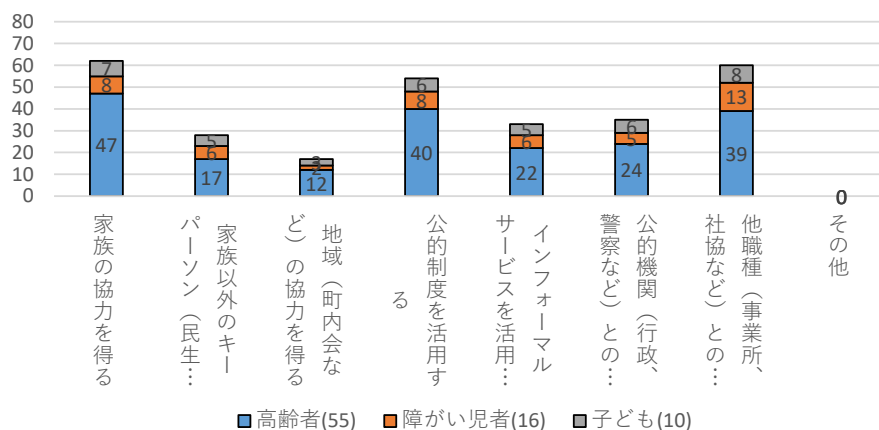
(20) 金銭管理に不安がある

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	62	76.5%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	28	34.6%
地域（町内会など）の協力を得る	17	21.0%
公的制度を活用する	54	66.7%
インフォーマルサービスを活用する	33	40.7%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	35	43.2%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	60	74.1%
その他	0	0.0%

地域生活課題を解決するために必要な取り組み～消費被害～



地域生活課題を解決するために必要な取り組み～金銭管理～

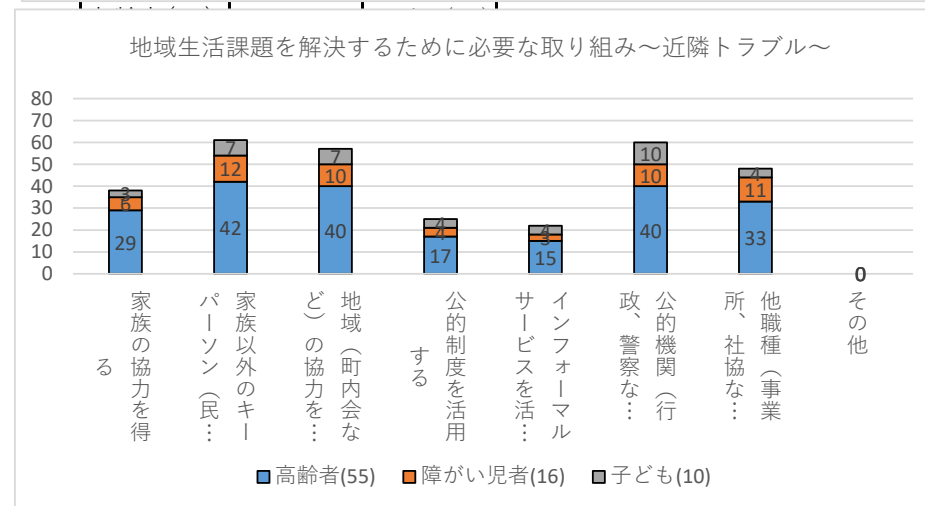
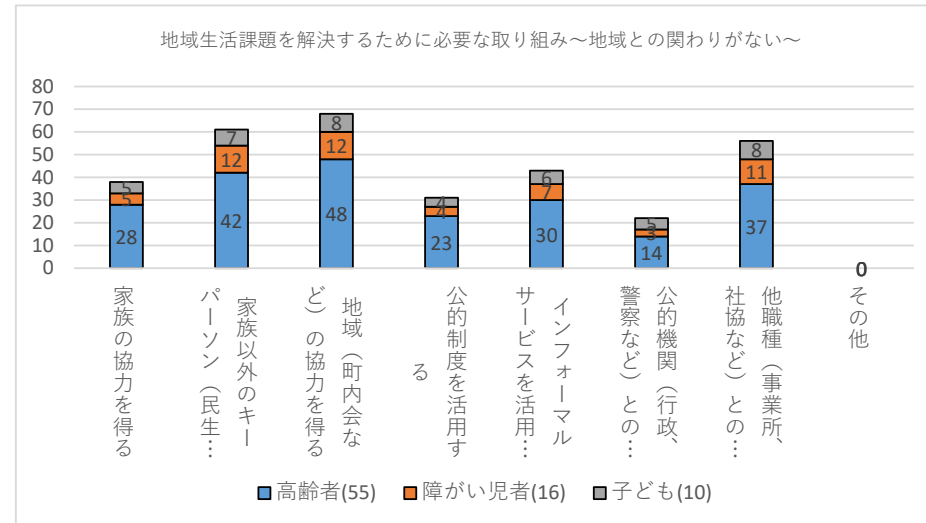


(21) 地域との関わりがない

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	38	46.9%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	61	75.3%
地域（町内会など）の協力を得る	68	84.0%
公的制度を活用する	31	38.3%
インフォーマルサービスを活用する	43	53.1%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	22	27.2%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	56	69.1%
その他	0	0.0%

(22) 近隣トラブルが生じている

項目	回答数	割合
家族の協力を得る	38	46.9%
家族以外のキーパーソン（民生委員など）の協力を得る	61	75.3%
地域（町内会など）の協力を得る	57	70.4%
公的制度を活用する	25	30.9%
インフォーマルサービスを活用する	22	27.2%
公的機関（行政、警察など）との連携を図る	60	74.1%
他職種（事業所、社協など）との連携を図る	48	59.3%
その他	0	0.0%

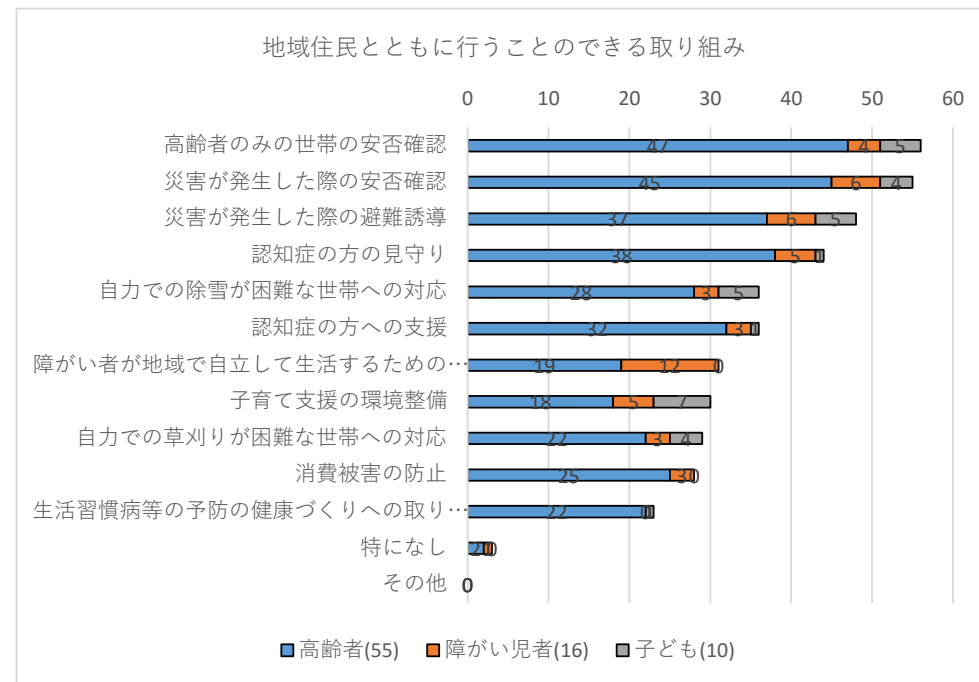


5－2. その他の項目

電話相談室・お寺・病院など
利用者の状態や家族の状況を確認し、専門機関に相談する。
買い物ボランティア（近所の高齢者にお声がけし、自家用車に乗せて買い物へ）
対応がない項目なのでその他とさせていただきました。
日頃より関係機関と連携しながら対応している
病院（専門医）・銀行員・コンビニ等の地域での見守り、
電話相談室・お寺・病院など
利用者の状態や家族の状況を確認し、専門機関に相談する。

6. 地域住民とともに行うことのできる取り組み

項目	回答数	割合
高齢者のみの世帯の安否確認	56	69.1%
災害が発生した際の安否確認	55	67.9%
災害が発生した際の避難誘導	48	59.3%
認知症の方の見守り	44	54.3%
自力での除雪が困難な世帯への対応	36	44.4%
認知症の方への支援	36	44.4%
障がい者が地域で自立して生活するための支援	31	38.3%
子育て支援の環境整備	30	37.0%
自力での草刈りが困難な世帯への対応	29	35.8%
消費被害の防止	28	34.6%
生活習慣病等の予防の健康づくりへの取り組み	23	28.4%
特になし	3	3.7%
その他	1	1.2%
(その他の意見) ゴミ出し、買い物、簡単な家事支援、サロン活動		

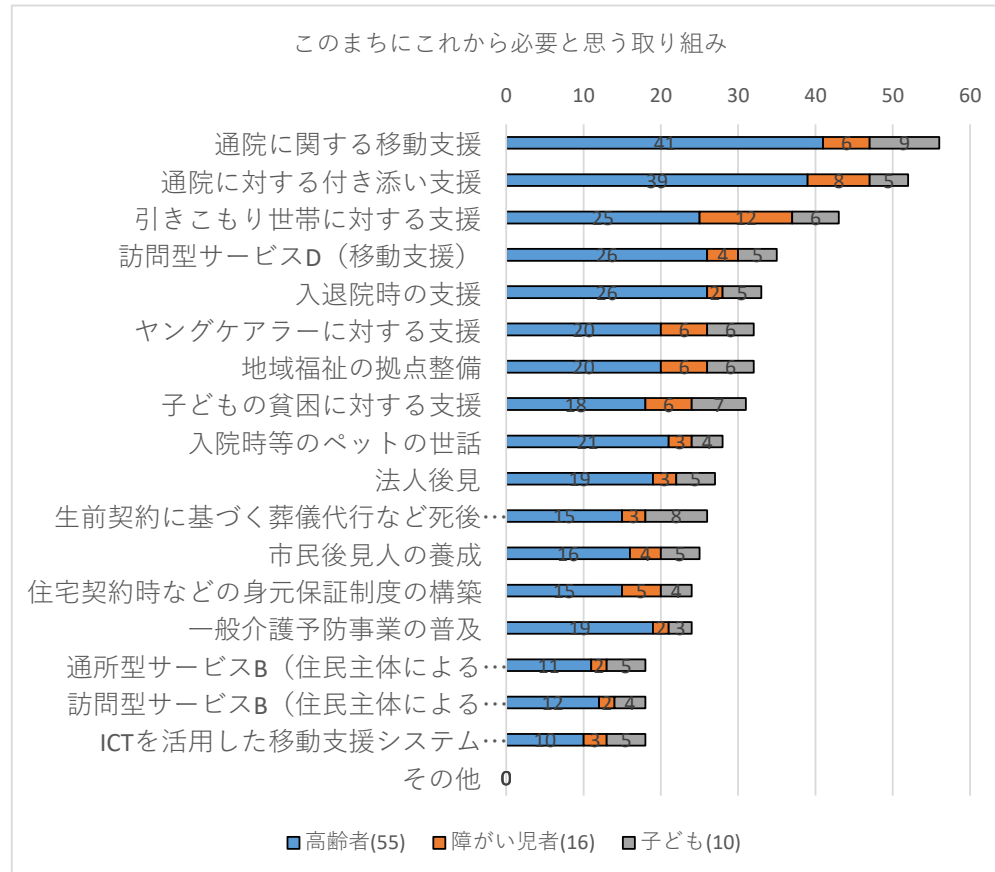


7. このまちにこれから必要と思う取り組み

項目	回答数	割合
通院に関する移動支援	56	69.1%
通院に対する付き添い支援	52	64.2%
引きこもり世帯に対する支援	43	53.1%
訪問型サービスD（移動支援）	35	43.2%
入退院時の支援	33	40.7%
ヤングケアラーに対する支援	32	39.5%
地域福祉の拠点整備	32	39.5%
子どもの貧困に対する支援	31	38.3%
入院時等のペットの世話	28	34.6%
法人後見	27	33.3%
生前契約に基づく葬儀代行など死後事務に関する仕組みづくり	26	32.1%
市民後見人の養成	25	30.9%
住宅契約時などの身元保証制度の構築	24	29.6%
一般介護予防事業の普及	24	29.6%
通所型サービスB（住民主体による支援）	18	22.2%
訪問型サービスB（住民主体による支援）	18	22.2%
ICTを活用した移動支援システム（MaaS）	18	22.2%
その他	1	1.2%

《その他の意見》

産前産後の移動支援、生誕100日・1年支援事業



8. 地域における課題と感ずること

年齢の垣根を超えて日常的に助け合う場がない。閉鎖的。例えば赤ちゃんから高齢者までが触れ合うことのできる場（施設や通い）がある街づくりが理想です。
8050問題。50代の男性が親の介護をして、親の年金で生活している。10年後、20年後に社会に復帰できるような仕組み作りが必要。
少子高齢化
高齢者のサービスを受ける場が少ないように感じます。
当事者が発言できる場の確保・手段を構築すること。訴えの内容を知る場の構築。
子どもが生まれない町は確実に消滅します。子どもを産み育てやすく全世代とかわる仕組みの早期構築。学校の統廃合問題は町の存続に直結します。
訪問型サービスが地区差があることも課題と感じている。
地域包括支援センターにて成年後見制度の相談を受けた際、本人や家族へ説明をするが、申立てから審判されるまでの手続きが複雑かつ時間がかかり、制度に繋がらないケースが多い。登別市においては室蘭成年後見支援センターが相談窓口として担っているが、現状ではあまり機能しておらず、地域包括支援センターが全ての支援が出来る訳ではないため、申立て件数は伸び悩んでいる。今後、市内の認知症高齢者も増加し、制度が必要となる方も増えてくると思われるため、制度が円滑に利用できる体制を構築していく必要がある。
地域福祉活動の地域差があると話されていた市民がいます。地域の特性によるのでしょうが解決のためにできることを考えたいと思います。
なし
公共交通機関の利用が困難になりがちになってしまう高齢者や障がい者に対する地域の移動手段について課題だと感じております。
移動手段通院、買物）、介護職員（ヘルパー）の確保、老々介護、施設入居（所）費用、子の障害（引きこもり、無職等）
高齢者との関わり
空家の対策としての有効活用法、また地域での説明会等での具体的な提案、広報での周知等
特になし
この地域に限らずですが、コロナ禍においてコミュニティが希薄になっている状況。
ボランティア活動に携わる人達が高齢化していつている為、若い人に・・・と思うが今は共稼ぎの方が多いので引き継ぎが難しいのが課題だと思う。

それぞれの施設や機関は誠実に取り組んでいるが、横の繋がりが無い。情報共有もない。
地域福祉活動実践者の成り手不足と高齢化でしょうか？ちなみに、ケアマネやヘルパーも成り手不足と高齢化が課題です。
高齢者世帯の方が多く、緊急時対応に不安がある
元気な時から地域と関わり、施設に入居すること無く、90才を超えても一人で住み慣れた家で暮らす選択が出来る地域福祉を作ってほしい。
少子高齢化がこの地域でも進んでいる

9. 地域福祉活動実践者へのメッセージ

多機能で多くの団体、個人が包括的な活動をされていることに感謝申し上げます。
いつも、地域の為に尽力いただきありがとうございます。
この街の一住民として、地域と積極的にかかわり、住民の住民による住民のための支えあい活動を実践されていることに「本当に信頼している」「安心して生活できる」との声をききます。
現在、介護福祉事業所の役割として、災害時を含めた地域連携が求められておりますので、平時より地域福祉実践者の方々との交流機会の場などがあると有事の際の連携が図れ、良いのではないかと感じております。
自分たちの暮らしはもとより地域で暮らす一人一人が出来る事を担い、安心して日々を送るために福祉活動は欠かせないものと思います。そうした取り組みを実践されている方々に対し敬意と感謝を表します。
特になし
劳いの思いです。いつもお疲れ様です。
母もボランティアに23年携わっています。また、保育所にはファミリーサポートの方もお迎えに来たりします。みなさんに、ありがとうの気持ちでいっぱいです。

とても尊い活動をして下さり、感謝の気持ちでおります。

四角四面な公助や共助の隙間を、いつも柔軟に対応して頂ける地域の皆様にいつも助けられています。これからも連携を図りながらそれぞれの立場で地域の為に頑張りましょう！

若い世代の人もこの街に住み続けたいと思える福祉の街になるといいなと思います。

子供から高齢者まで幅広く対応してくださり感謝しております。子供を持つ親として、また高齢者施設で働く者として、さらなるご活躍を期待しております。

個人情報保護法もあり、介入の難しい事例が多い中ご苦勞もたくさんあると思います。日々の活動感謝しております。

地域全体を把握しながらのお仕事は大変ですが、頑張ってください。

10. きずな活動の推進についての意見

先進的な取り組みを全市的に取り組まれていることに有り難く、町の誇りと感じます。
この事業を知るためにネットで調べました。 活動の内容や報告が載っていましたが、文書を少なく（または箇条書きに）したり、写真を沢山載せたり短い動画を編集して載せたりすると、見てくれる人に伝わりやすくなると思います。 専門に携わっていない事もあり、専門用語が多く沢山言葉を調べ、勉強になりました。『きずな活動』が行われている事をもっと多くの人に知ってもらえると良いと思います。
鍵の預かりサービス、移動・買い物支援サービスなどの取り組みが全市で行われると良いなと思います。
驚別子育て支援センター開催当初より、子育てサロンと一ますの方々には毎週金曜日に開放に参加していただいております。利用者親子も一緒に遊べることを喜んでおり、私たちも心強く思っています。いつもありがとうございます。
きずな活動と介護福祉事業所をより結びつける取り組みなどがあると、さらに身近なものに感じるのではないかと思います。
具体的な福祉活動を広報誌等で今まで以上の頻度で周知していただけたら活動に関心をお持ちの方や希望されている方々にも実践者への仲間入りのきっかけになるのでは…と考えます。
特になし
高齢者分野に関しては、介護保険に携わる私たち専門職が、利用者の自立支援と、インフォーマルサービスの活用を意識した仕事を行うために、地域福祉活動への意識をもっと深めていく必要があると思いながら、ケアマネジャーへの後方支援を行っています。地域ケア会議を活用した地域課題の整理や政策形成も含め、道のりは長いですが、これからもよろしくお願いします。
アンケートに答え、改めて大変なお仕事であり、地域に必要な仕事だと感じた。